

「雇用保険」は、労働者が失業・解雇（クビ！）等で無収入になったときに、次の職場が見つかるまでの期間の生活費を保障するための保険です。

今回のテーマ

〈雇用保険とは？複雑な制度をアバウトに解説！〉

I 「雇用保険」は、企業が加入を保障する保険。

- ① 基本的には、従業員がいるすべての企業が制度の対象となる。
- ② 従業員が5名以下の企業については、非加入が認められている。
- ③ 「うちの会社、雇用保険ないから！」は、ほぼブラック企業。

II 保険料は、企業と従業員（個人）の両方が負担する。

- ① 双方の負担の割合は定められていない。
- ② 一般的には、企業が50%以上負担するとされている。

III 従業員の一人ひとりが加入するかしないかを判断できる。

- ① 加入しなければ給料はそのままだが、加入すると給料は減る。

IV 加入者が失業や解雇された場合、一定額が受給される。

- ① 受給額と受給期間が定められている。給料同額ではない。
- ② 手続きは失業・解雇後に個人で行うため、初回受給日までの生活費（貯金）は必要。
- ③ 手続きから初回受給日までは約30日～60日。
- ④ 手続きには様々な証明書が必要。最低限自分の給与明細書は、すべて保管しておくべし。
- ⑤ 手続きの窓口は、ハローワーク！
※ 手続きと並行してハローワークでの求職活動が始まる！

V ちなみに、公務員には雇用保険が適用されない！

- ① 「雇用保険法」という法律により適用外となっている。